

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	サラ・ローレンス大学	氏名	
国名	アメリカ合衆国	学籍番号	
留学期間	2022年8月～2023年5月	記入年月日	2023年6月14日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: リベラルアーツ			
科目名	Storytelling through the Lens: Film making Basics	科目名	Comtemporany Moving Image Art
授業内容	映像制作の基礎を学び、授業内で自分で映像制作のプロセスをたどりました。グループで映像制作をしたり、キャンパス内で歩き回り授業時間内で撮影をしてから編集をしたりします。	授業内容	毎週新しいアーティストのartを授業内で鑑賞してからアーティストの方々が講演のように授業を行う授業でした。コロナが収束し始めた頃の秋学期の授業だったので、Zoomでアーティストの方のお話を聞きました。Discordを通して質問をしたり、アーティストのレスポンスとして個々のartに対しての感想や担当教師の問いに合わせて課題を行いました。
授業形式	対面 生徒15人ほどに先生1人	授業形式	対面 30人ほど
単位数	5	単位数	5
サイズ	3時間	サイズ	3時間
難易度 Course No.	中級	難易度 Course No.	中級
宿題の量	普通	宿題の量	普通
コメント	授業の内容は理解できるレベルの英語でした。円形で授業を行うため、発言することが多く意見をはっきりと言える人にお勧めします。授業でコメントを言うことでクラス内での授業態度を見られるので、思ったことをはっきりと生徒同士で言い合い高めあうことができます。この授業は自分の中のアイデアを書き出し、映像として形に残す授業なので楽しかったです。しかし、現実的に日程を決めたり学内での機材のレンタルやキャスティングから場所の確保など大変なこともありました。私は、映像制作のためにサラ・ローレンス大学の留学を決めたため自分が高校生の頃からやりたかったことができて嬉しかったです。	コメント	サラ・ローレンス大学で受講した授業の中で一番刺激的な授業でした。毎週想像をはるかに超えるような映像が多く、サラ・ローレンスならではの授業でした。課題の面としては、毎週レスポンスの課題があります。さらに、プレゼンテーションがあり、アーティストから創造する自分自身のartプロジェクトを発表として持ち込むのも可能でした。この授業で視聴した映像は、学内の友人にも共有するほど面白かったのでお勧めです。Conference meetingでは、発表や意見の交換が当たり前の環境なので、ここでも自分の思ったことを伝えられる方に薦めます。
科目名	WorkShop: Sustainability Solutions at Sarah Lawrence College	科目名	Crossing Borders and Boundries: Social psychology immigration
授業内容	この科目は、ワークショップのため授業ではありません。ここのワークショップは、生徒たちが環境保持のために必要な大学内の問題を取り上げ、その問題解決のために大学から情報を得て、大学の責任者の方々に発表し話し合うところです。	授業内容	メキシコからアメリカに移民してきた家族の映画を見たり、アメリカで移民してくる人たちの立場のことを考えたりしました。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	1	単位数	5
サイズ	2時間	サイズ	3時間(週に2回で半分ずつ)
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	やや難しい
宿題の量	ほぼなし	宿題の量	普通
コメント	課題などは授業内に取り組める量で、終わらない人は持ち帰って来週にまたそこから始める形式でした。課題といっても先生が全体に出す課題ではなく、個人が取り組んでいる環境問題に関して何が必要かといった課題です。自分の興味もった問題でワークショップ内のグループが構成されます。私は、Waste&EnergyのWasteを担当して大学ではGive and Goという新しいイベントを企画してやり遂げました。そこでは、大学でいらなくなった服・食べ物から日用品までを大学内で集めてから近くの自立支援センターなどに寄付する活動でした。	コメント	毎週の課題は大変なほどはないがグループワークやプレゼンなどが行われます。授業の最後にグループで集まり話し合い、その後グループで何の話をしたのか発表します。私は、アジア人としてニューヨークで生活していて、人種差別用語を街中で言われたり地下鉄で人種差別を経験したのでそのことについてなども話しました。そしてなぜそのような差別が生まれるのかについても話し合いました。

科目名	The Beatles	科目名	Philosophy Through Film
授業内容	この授業では、ビートルズのアルバムをリリースされた順番に聴き感想を書き提出します。ビートルズの歴史からその当時の時代背景などについても勉強します。	授業内容	この授業では、映画を通して哲学について勉強しました。毎週課題で映画鑑賞をし、その映画と指定された読み物を読んでその関連性について課題をこなします。授業では、読み物について話しカンファレンスでは映画について話します。自分が決められた映画についてリードする週が一度だけあります。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	1	単位数	5
サイズ	3時間	サイズ	3時間
難易度 Course No.	簡単	難易度 Course No.	難しい
宿題の量	普通	宿題の量	多め
コメント	毎週アルバムを聴いてから一曲ずつ感想を書きます。その週のアルバムの中から一曲選び、その曲について音楽的解説をします。ビートルズの曲で聴いたことない曲などを聴くことができ、ビートルズのメンバーの仲間関係などについても学ぶことができ興味深かったです。音楽について学んだことがない人も、音の取り方で教えてくれる先生なので楽しく勉強ができます。	コメント	課題自体の量はそこまで多くないのですが、とても頭を回さないとこなせない内容になります。哲学について詳しくなくても、こなせますが課題をこなすことが苦痛にならない方にお勧めします。授業自体は面白く、先生も学内で人気の先生です。とてもカジュアルで授業は楽しかったです。映画を見る視点が変わり関心深い授業でした。
科目名	Social Media as used by Visual Artists	科目名	New Genres: Drawing Machines
授業内容	SNSを通して活躍しているアーティストの方々について学びます。授業は毎週生徒たちが行った課題について話し合うことがベースになります。毎週ユニークな課題がでてこなすのが楽しかったです。	授業内容	この授業では、デジタルアートについて詳しく学びました。パソコンを毎週利用し、コーディングなどからGlitchを利用したアートなどもつくれるようになりました。学期を通して行うのが自分のマシンを作り、その過程を辿ることでした。どんなマシンを作ってもいいのですが、他のクラスメートたちのクリエイティブさに驚かされる日々でした。
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	5	単位数	5
サイズ	3時間	サイズ	3時間
難易度 Course No.	やや難しい	難易度 Course No.	やや難しい
宿題の量	普通	宿題の量	普通
コメント	毎回の宿題が考えさせるような内容なので課題をこなすのがミッションのようになっていました。例えば、影を合わせて一つになったものの写真を撮り提出する課題などがありました。全ての課題がデジタルの世界と現実の世界を行き来する課題になるので面白みがある宿題でした。	コメント	毎週の課題は授業で行ったことを、自分の時間にする事だったのでそこまで苦痛ではなかったです。先生が優しく面白いので、授業も気を張らないで受けることができました。私は、学期を通して行う課題を見つけるのに苦戦して悩んだのですが、先生はそれを支える感じでした。アイデアを個人でもちそれを実現するクラスでした。あまり自分でやりたいことを見つけることが得意でない方にはお勧めしません。授業内でも批評し高めあうため、意見を求められることも多いです。
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>授業において困ったことは、なかったです。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>授業以外では友達の履修していた授業の先生が、プロデューサーのコネクションがありキャストたちが集まって台本読みをする会に参加しました。そこでは視聴者の意見を聞く場でもとても良い経験になりました。大学のアート展示会などが学期末に行われるのですが、その展示会を見に行ったりもしました。そこでは私の授業で行った作品も展示されたので、作品を展示する側と客として見に行く側のどちらも経験できました。大学内で行われる、演技のショーも見に行きました。そのほかには、学生たちが制作した映像の短編作品なども見に行きました。そこでも自分が制作した作品が流れて観客のリアクションなどが実際に見れて感動しました。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所</p> <p>Slonim Woods3です。場所はHeimboldの裏でHill Houseの手前でAndrewsの向かい側でした。私が履修していた授業の教室からは一つ以外全て徒歩5分以内だったので便利でした。</p> <p>設備についての簡単な説明</p> <p>設備は、自主勉強する場所はBarbara walters centerのCommon areaでした。他にも図書室や、Heimboldの空き教室が利用できます。HeimboldではEditing labなどがあり、映像系の授業を履修していると利用できる場所もあります。そこは映像の編集するための部屋なので、パソコンがたくさんあり個室になっている部屋もあります。あとはHeimboldには映像に関する機材などが揃っている場所があり、そこで機材をレンタルできます。Pacなどでは、劇の発表会や歌の発表会、またはダンスの発表会などが行われる大きな部屋があります。Marshall fieldは野球ができるようなスペースがあり、その隣に隣接している建物では音楽の授業が行われます。大きなピアノがたくさんあり、地下には小さな防音の個室の部屋で学期を演奏することもできます。</p> <p>部屋について</p> <p style="text-align: center;">1 人部屋 広さ 狭い 4畳半くらい</p> <p>ルームメイトについて</p> <p>ルームメイトは居ませんでした。フロア4人でバスルームがシェアでした。下の階も同じ部屋の作りになっていて、全員で8人の寮でした。部屋は私の部屋が家の中で一番狭い間取りになっていました。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法</p> <p>寝具や生活用品は、初日に国際センターのクリスさんが車で近くのモールまで送迎してくださったので、Macy'sとCVSなどでほとんど用意できました。部屋は、ベッドのマットレスとクローゼットとタンス5段と机が用意されていたので、ベッドカバー・枕・掛け布団全て現地で用意しました。他のルームメイトの方は、洗濯用のバスケットなども購入していました。</p> <p>生活の感想</p> <p>冬は、とても寒くなりエアコンが効きません。掛け布団が二枚あったのですが、どちらも薄いものだったので、凍えるぐらい寒い夜は冬用のアウターを上のにのせて寝ました。同じ家の隣の部屋の子は、夜が寒すぎて寝れないと言っていました。私自身も、寒くて夜中に目が覚めたことがあります。キッチンなどは自由に利用できます。キッチンで必要な用品は、同じ寮の子たちが使用した後に洗うという約束で共有していいと言ってくれたので一緒に使えました。私の寮は8人のうち3人が留学生だったため、みんな優しく色々教えてくださいました。</p> <p>5</p> <p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>食事はミールプランBに入っていました。一週間に14食のプランでした。正直な感想を言うと、レパートリーがあまり多くないので早い段階で飽きました。サラ・ローレンスのご飯は、あまりよく作られていないと学生たちの中で話題になっていました。秋学期の方がパスタなどは毎日トマトベースやクリームベースなどと変わっていたのですが、春学期は似たものが多かったです。その分UberEatsやDoordashなどのフードデリバリーサービスを利用したり、外食でマンハッタンに行ったりしていました。</p>

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	OSSMA	
	留学先大学にあった医療保険制度 加入していないため、わかりません。	
7	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
	ないです。	
	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	35万 円
	帰国旅費	20万 円
	引越し(往復で)	円
	保険	15万 円
	語学研修費	円
	留学先学費	0 円
	本学学費	20万 円
	教材費	0 円
	住居費・食費	17,968 254万 円
	その他(生活費)	100万 円
	()	円
	()	円
	合計	444万円 円
	換算率 (1ドル = 140 円)	
8	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください	
	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	SIMカードは海外でも使い放題のものを日本で購入し、アメリカで利用していました。スマホのフィルムはアメリカで2回交換したのですがすぐに割れてしまったため、日本の替えを用意しておいた方がいいです。	
	留学前にしておけばよかったこと	
	特になし。	

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>シャワーの水圧が弱いのと、お湯の調整が難しくすぐ水に戻ってしまうところなど少しストレスでした。部屋も一つしか明かりがないので暗かったです。あとはハウスマートのルールで気づいた人が掃除をすると言う約束だったのですが、キッチンを利用する人たちが掃除をする習慣がなく、掃除をする人たちが決まった人になっていてかわいそうでした。私自身はキッチンはあまり使わず、カップヌードルを食べるときに利用した時は使ったものを全て直後に洗っていました。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>学習面では、学びたいことが学べる環境で本当に幸せでした。ずっと興味があったことを実際に学んでみることで新しい刺激や感覚にであえました。全ての授業が面白く、退屈な時間は全くありませんでした。今まで自分が経験してきた授業の環境とは違い、授業に参加するほとんどの生徒が発言をし授業に参加していました。文化の違いで、日本で自分の思ったことをその場で発言できる方は少ないですが、そこがアメリカだなと感じ感化されました。今までだと、私と先生の会話がクラスに響き渡るところが、他の生徒の意欲がすごく驚きました。精神面だと、メンタルが今まで以上に強くなりました。自己主張が激しい人たちが多く中で、自分の意見を聞いてもらいその中で話し合うことの大切さに気がつきました。私は、日本では自己主張が他の人より強い方だったのですが、アメリカでは周りに負けてしまうほど自己主張が激しい方が多かったです。今自分はすごく周りに揉まれながら生活しているなという実感と共に成長できたと思います。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>今後の就職活動は、今まで通り英語と日本語を活用できる仕事につきたいと思っています。実際私と同じ時期に留学していた高校時代の友達なども行っていた、キャリアフォーラムに参加しようと思っています。留学に行く前よりも、英語圏で生活することが強い希望になりました。私は、今回の留学でアメリカの方が日本より自分に合っていると感じました。留学の夢は高校3年生の時から始まり、津田塾大学に入学しサラ・ローレンスに一年留学をすると心に決めていました。次はアメリカに仕事をしながら住むという、その夢に向けて頑張りたいと思います。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>サラ・ローレンスでは自分が学びたい、伸ばしたいと思う分野を精一杯伸ばせる場所です。自分をまだみつけれない方も、この大学ならみつけれられると思います。たくさんの選択肢の中から、単位数や単位認定のことよりも自分が惹かれる授業を選んでほしいです。人気の科目は、抽選もあり必ずしもその授業が受けられるわけではないです。しかし、授業以外にも活動している生徒はたくさんいます。留学中は、様々な人たちと関わりをもち刺激を受け、日々人々に揉まれた生活を過ごしてほしいと思います。留学とはいっても、自分が人と関わらないようにしようと思えば、そうなってしまいます。その反対に、自分から色々な人に歩み寄り、関係性を始めることにより、かけがえのない時間を過ごせることができます。私は週に3日授業がある日をつくり、それ以外の時間は友達と課題をしたり、自分たちで映像制作などを行いました。友達のヘルプなどもして、本当に楽しい時間を過ごせました。ニューヨークは、はっきりとした目標をもってその夢に向かって歩んでいる人たちが残っていけない場所です。マンハッタンにいくと、そのようなカッコいい人たちが溢れています。私は、中学生の頃の友達がニューヨークで働いているので、その友達からも色々な出会いに恵まれたのですが、外に出ればチャンスは必ず訪れます。時間は取り戻せないので、噛み締めて日々の生活を過ごしてほしいです。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>この経験をさせていただけた津田塾大学に心から感謝しています。大学時代に、ニューヨークの大学のサラ・ローレンス大学に一年留学できたのは一生の思い出です。そのサラ・ローレンス大学で出会った友達もずっと関わっていきたい人たちでした。今年の夏は、サラ・ローレンス大学で出会った友達たちに会いにヨーロッパに行きます。この留学経験は、何にも変えられないとても貴重で大切な時間でした。これから残りの津田塾大学での一年半も今まで以上に頑張りたいと思います。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

許可する(写真含む)

写真掲載のみ不可

許可しない

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。
ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。

ありがとうございました